

小学校 6年

嘆願書を書いて家老に申し立てをしよう

東大阪市立意岐部東小学校

教科

社会

単元名

明治の新しい国づくり

本時のねらい

・自分によってさまざまな制約を求め、渋染一揆のきっかけとなった御触書を読んで、当時の人々の願いを想像しながら嘆願書を作成し、言葉で伝える。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・グループごとにロイロノート・スクールの共有ノートを作成することで、グループ全員で同時に作業することができる。
- ・申し立てる内容を、共同編集しながら、書くポイントや書き方などを話し合い、作成する。
- ・電子黒板に、当時の人々の願いを想像しながら作成した嘆願書を映しながら、発表する。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・学習支援アプリ（ロイロノート・スクール） ・電子黒板

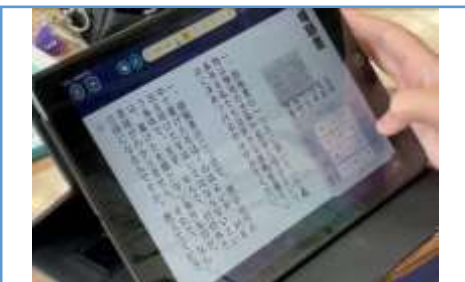
本時の展開

| 学習の流れ | 主な学習活動と内容 | ICT 活用のポイント・工夫 |
|--------------|---|--|
| 導入 (3分) | ○本時の活動内容を知る。 「嘆願書について、考えよう。」（当時の人々の願いを想像しながら嘆願書を作成し、言葉で伝える。） 【写真1】 | ○電子黒板と校務用 PC をつないで、活動内容をわかりやすく提示する。 |
| 展開 (30分) | ○班ごとにロイロノート・スクールの共有ノートを使って嘆願書を作成する。 ＜ポイント＞ ・どのような書き方なら思いや願いが相手に伝わるか ・多面的で多角的な書き方ができているか 等 【写真2】 | ○共有ノートを活用することで、班のメンバーで話し合いながら同時に作業できる。 ○嘆願書を作成する際、前時に作成した別の共有ノート（御触書を見て気づいたことや意見を集めたもの）をヒントにする。 |
| まとめ (12分) | ○班ごとに発表をする ○当時の人々によって出された本当の嘆願書を知り、自分たちが作成した嘆願書と比較する。 【写真3】 | ○電子黒板に共有ノートで完成した嘆願書を写し、発表をする。 |

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真1】本時の活動内容の説明を聞いている様子



【写真2】グループごとの共有ノートで嘆願書を作成している様子



【写真3】グループごとに作成した嘆願書を発表している様子

児童生徒の反応や変容

・前時の御触書の内容にふれた学習では、多くの児童が自分の意見や気づきを持ち、共有ノートに書きこめていました。これまでの学習とつなげて、様々な角度から、差別について考え、どうやって家老に申し立てれば良いのかを話し合うことができました。自分たちにとっての利益だけでなく、家老にとっても不利益につながるようになるなど、訴え方の角度もさまざまでした。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・グループでの話し合い活動、班での作業をする際にはロイロノート・スクールの共有ノートがとても効果的です。班ごとに共有ノートを作ることで、子どもたちはそれをひとつの画用紙のようにして、どんどん意見や考えを出していくことができます。また、作業の分担なども活用するたびにスムーズになりました。何より、リアルタイムで友だちの作業が見れたり、対話しながら作成したりすることができるので、協働的で深い学びにつながります。